



いずみ
Izumi

〈62号〉
医療法人 畏敬会
井野辺病院
大分市中尾字平255番地
TEL 097-586-5522
FAX 097-586-5656
2013年7月20日発行

病院の活動近況報告

院長 井野邊 純一



院長 井野邊 純一

井野辺病院の院長 井野邊 純一。さて、今回は井野辺病院における最近の取組みについて触れたいと思います。

新たなMRI装置の導入

この度、新しいMRI装置を導入しました。開口径が大きく、比較的音の小さい装置を導入し、患者さんが少しでも安心して検査を受けられよう配慮しております。また最新の高磁場（1.5テスラ）装置を導入し診断の可能性も広がりました。今まで以上に患者さんにとって有益な情報を提供することが可能になりました。

当院で開発した麻痺に対する電気治療「FEE」の成果

FEE（ワイヤー）の成果は昨年、論文（英文雑誌「Brain Injury」に掲載）でも発表した

ところですが、(株)OG技研からこの治療法を用いた機器が製品化、市販されました。現在、片麻痺に対するリハビリテーション依頼が増え、大分県内をはじめ全国からリハビリ入院を受入れていきます。的確に評価を行ない、効



FEE療法 肘関節で訓練中 セラピストの触診により電気刺激を与える

果的な治療法の確立を目指し「表面筋電図装置」や「ポータブル脳波計」も導入しました。臨床研究もこれまで以上に積極的に進んで参ります。

ボツリヌス療法

「BTB療法の実施」

脳卒中後遺症や他の神経疾患が原因で、筋肉が硬くなり日常生活が困難になっている方に、

I T B療法（大分三愛メデイカルセンターと連携）とボツリヌス療法を行っています。

神経難病患者さんのレスパイトケアの受入れ

大分県で在宅医療を選んで頑張っている神経難病の患者さんご家族をささやかですが、レスパイト入院を通して支えています。

二一スに合わせた認知症対策と体制づくり

認知症予防として賀来公民館で健康教室「スマイル健康大学」を開催しています。臨床心理士、健康運動指導士、管理栄養士等が講師を担当しています。脳を刺激し、無理なくできる有酸素運動等を行い認知症の予防を行っています。また、診療に「もの忘れ外来」、治療に「元氣もん教室」もの忘れ予防コース」を行っています。「もの忘れ」や「認知症」でご心配やご不安の方はご相談下さい。

また、患者家族会を定期的に開催し、介護等の悩み事を抱え込まず、言いたいことを話し合える場を作っています。あわせて、地域の専門職を対象に「城南・賀来認知症ネットワーク」を開催し、患者さんを地域で支える体制づくりを行っています。



多職種参加による研修会「見える事例検討会」

自動車運転リハビリ

脳卒中等による高次脳機能障がいの方、自動車運転の継続を悩まれる方に、心理検査、運転技能の評価等を行っています。

外来診療と在宅医療

呼吸器内科で睡眠時無呼吸症候群や禁煙に対する治療、肺気腫等の呼吸器疾患に対する治療を行っています。他、内科、神経内科、整形外科、消化器内科、循環器内科、皮膚科、泌尿器科、膠原病内科も定期的に診療を行っています。

在宅の方には、外来通院、デイケア、デイサービス、訪問リハビリを積極的に提供しており、患者さんの状態に合わせてリハビリを提供しています。

また、病状が重度で通院が困難な方には訪問診療、訪問看護を行っています。

身体抑制の廃止

認知機能に障がいがある方などの怪我などを予防する目的で、やむをえず身体を抑制することがあります。当院では入院患者の安全管理と人権尊重の両方を守る観点から、専門的な工夫を行い、身体抑制廃止に努めて参ります。

以上、井野辺病院の取組について簡単にお話し致しました。なにかお困りのことがございましたら、気楽にお声をおかけ下さい。

※井野辺病院前に広がる田園風景

井野辺病院の理念

人々がいきいきと暮らせるように、リハビリテーションを通して地域社会に貢献する。

常に高い目標をもち、人生の質の向上に努める。

「井野辺病院の運営方針」

＜リハビリテーション・ケア体制＞

急性期から在宅医療まで、充実したリハビリテーション・ケア体制を提供する。

＜医療体制＞

安全で質の高い医療を、インフォームド・コンセントに基づいて提供する。

＜職員の育成＞

患者・家族から必要とされる職員になるための教育に努める。

＜健全経営＞

職員の満足度向上に努める。

ピロリ菌検査 と除菌



(医師) 石松 俊之

ヘリコバクター・ピロリ (Helicobacter pylori) は経口により感染する細菌で、胃に様々な影響を与えると言われています。従来、胃酸の強い環境の下では細菌は棲息できないと考えられていました。しかし、この細菌が持つウレアーゼという酵素が、胃内の尿素を分解してアンモニアを作り、酸を中和するため、胃の中で棲息できるようになりました。ヘリコバクター・ピロリ菌は、胃炎や消化性潰瘍(胃・十二指腸潰瘍)の原因として重要な働きをすることが明らかとなっており、ピロリ菌が胃粘膜にくっつく、様々な機序により胃炎が形成されます。また、胃潰瘍患者の65～80%、十二指腸潰瘍患者の90%以上にこの菌が証明されており、この菌の除菌治療により、潰瘍の治癒や再発頻度の低下が見られるなど、ピロリ菌が潰瘍の原因として大きく関わっていると考えられます。

ヘリコバクター・ピロリの検査は、次の通りです。

- 【内視鏡を用いる方法】
胃の組織を採取(生検)し、次のような検査をします
- ①培養法。ピロリ菌を培養
- ②組織鏡検法
組織標本を染色し顕微鏡でピロリ菌を探す
- ③迅速ウレアーゼ試験
ピロリ菌の持つウレアーゼ酵素活性を利用し、発生したアンモニアによる試薬のpH変化で間接的に証明
- 【内視鏡を用いない方法】
- ④抗H. p抗体法
血液や尿中のピロリ菌に対する抗体を測定
- ⑤尿素呼吸試験
ウレアーゼが尿素をアンモニアと炭酸ガスに分解する性質を利用し、13Cで標識した尿素を服用後の呼気中13C標識二酸化炭素を調査

2000年6月に日本ヘリコバクター学会では、「診断と治療のガイドライン」を公表し、「ヘリコバクターピロリ陽性の胃潰瘍・十二指腸潰瘍はすべて除菌治療の適応となる」と提言しました。学会の資料によると、現在使われている1次除菌の薬で、胃潰瘍87・5%、十二指腸潰瘍91・1%の高い除菌率が得られています。尚、この除菌治療では、下痢を起こす頻度が比較的多く見られます。軟便や軽度の下痢では、継続服用を考え

た方がよいと思われませんが、下痢が悪化したり、発熱や腹痛を伴ったり、血便や粘液便を見た場合は服用中止と治療が必要で、また1次除菌がうまくいかなくても、2次除菌の薬も保険適応になっており、3次除菌の薬も研究されています。

1994年にWHOが、ピロリ菌と胃癌の発生に関して、「ヘリコバクター・ピロリは、確実な発癌物質 (definite carcinogen) である」と認定しています。これは疫学的研究の結果に基づいており、ピロリ菌感染者は、ピロリ菌マイナス群に比べ、約6倍の発生リスクとなるとい報告もあります。また最近では、日本の研究者が、動物(スナネズミ)にピロリ菌を感染させ、発癌を確認した論文も発表されています。

今まで胃癌の発生母地の一つと考えられていた萎縮性胃炎が、ピロリ菌感染と大きく関与している事実が明らかになった現在、萎縮性胃炎とピロリ菌感染、並びにピロリ菌自体の発癌作用(あるいは発癌促進作用)の両面から発癌機序の検討がなされています。



もしピロリ菌検査でヘリコバクター・ピロリ陽性と言われた際は、胃癌予防の意味でも除菌をお勧めします。

身体拘束廃止に 向けた取り組み



ご講演中の
涌波 淳子先生

平成25年3月5日 病院4階の会場で、院内研修「身体抑制・擁護と虐待のはざままで」を開催しました。講師は、沖縄県にある特定医療法人アガベ会北中城若松病院の理事長 涌波淳子先生にお願いしました。

この研修会は、昨年7月、院内の職員から患者の身体拘束が日常的に行われていることに疑問の声が上がったことがきっかけで開催に至りました。

井野辺病院には、リハビリ目的で入院している患者さんが多く、リハビリが、進むと1人で歩こうとして転倒し、骨折に至る患者さんが時々いらっしゃいます。また、認知症の患者さんは、誰かが見守っていないと、車いすから滑り落ちたり、1人で立ち上がってけがをしたりすることがあります。このような危険を回避するため、車いすに座った状態で抑制することがあります。また、栄養チューブや点滴チューブを抜いてしまわないよう手を抑制することもあります。

そのような中、職員の疑問の声をきっかけに、院長が「今後身体拘束を廃止していこう」という宣言を行い、9月には職員全体で、「身体拘束を外すためにはどうしたらよいか」という研修会を実施しました。研修会での意見交換では、多くの職員が、これらの抑制が決して望ましいものではないと気づいているものの、「転倒して骨折したら」という危機感を感じ、「仕方ない」と受け止めているということが分かりました。



そこで、実際に拘束廃止に取り組みに実績のあるアガベ会の涌波先生に講演をして頂くことになりました。講演では、涌波先生の病院でも、以前は身体拘束をしており、学会発表の際、「抑制してまでやる医療ってあるのか」と言う指摘をされたことがきっかけとなり、拘束廃止の取り組みを始めたこと話されました。その後、病院トップが抑制を止める決断をし、ケース毎に全職種で抑制の必要性を繰り返し検討して行ったこと等が紹介されました。

今回の講演を参考に、井野辺病院でも今後1人でも、短時間でも、身体拘束を廃止することができるよう、全職員で継続した取り組みをしていきたいと思います。

文 看護部長 後藤 朋子



講演会の様子

ジエネリック医薬品について



小代 裕憲 (薬剤師)

新聞広告やテレビCM、医療機関等でよく見聞きするようになったジエネリック医薬品。ジエネリック医薬品(後発医薬品)とは、既使用されてきた医薬品(先発医薬品)と同一の有効成分を同一量含む製剤(医薬品)で、効能・効果、用法・用量が基本的に

は同じ(一部、適応症などが違う製剤があります)医薬品のことで、先発医薬品と同等の作用・治療効果が期待できる医薬品のことをいいます。また、先発医薬品と比べて値段が安いのも魅力の一つでしょう。安いからと言って粗悪な原材料を使用した品質の劣る薬ではありません。どうして同じ薬なのにジエネリック医薬品は安価なのかと言うと、新薬の研究開発には長い年月と莫大な費用が掛かります。一つの製剤を薬として市場に送り出すまでに数百億円以上と言われています。ジエネリ

ック医薬品は、この研究開発費が必要なくて薬として発売するまでの費用が少なくて済むため、安価な設定になっているのである。



近年、日本政府(厚生労働省)はこのジエネリック医薬品の普及を推し進めています。その理由として患者の自己負担の軽減や右肩上がりで増え続ける医療保険財政の改善に役立てようとしているのです。しかし、現状は厳しく、欧米諸国と比べると日本におけるジエネリック医薬品の普及

はまだまだ進んでいません。その最大の理由は、医薬品を処方する医師や調剤する薬剤師、実際に薬を服用する患者自身にジエネリック医薬品の品質に対して十分な信頼が得られていない事だと思われる。事実、ジエネリック医薬品と先発医薬品とは、有効性・安全性について基本的に相違ありませんが、添加物が違っていたり、体内動態(吸収や排泄)に多少の差があったりするのも否定できません。そうは言っても、最近のジエネリック医薬品は一昔前に比べると品質も良く、安心して使用できる薬となってきました。更には大手製薬会社(先

発メーカー)もジエネリック医薬品市場に参入し始めています。興味のある方は、お気軽にご相談下さい。安心して、ジエネリック薬品をお使い下さい。



《薬剤に関するお問合せ》
0067-589-5522
薬剤部まで

看護部通信 新採用者が入職しました

4月1日、看護部は3名の新人を迎えました。3人共20〜23歳という若い年齢です。3月に看護学校を卒業し、看護師免許を取得したばかりの長谷部喬哉さん、急性期病院勤務の経験を持つ二出川枝里さんと介護施設で勤務経験のある介護士の奈須志織さんです。



長谷部 喬哉 (看護師)



二出川 枝里 (看護師)

長谷部君は、リハビリ看護に興味があると、一度病院見学にきました。二出川さんは、救急病棟の経験と学生時代に担当した回復期リハビリの患者さんとおした学びから、井野辺病院で働くことが自分の想像する看護につながるという期待をもっています。



奈須 志織 (介護士)

介護士の奈須さんは、介護施設で患者さんが急変した時の経験から、介護士にできることは何かを学びたいと話しました。こうした明確な目標を持って井野辺病院に入職した新人の方たちです。

さて、井野辺病院看護部には、看護師、介護士、事務職員等90名の職員が在籍しています。4月に新採用者を迎えるにあたり、その準備を2月頃より始め

ます。指導者は誰が良いか、新採用者の教育内容などについて、看護師長や主任で構成する看護部の教育委員会が検討を重ねます。新人指導に当たる看護師は、一年間継続して新人を支え、教育することになり、身体的、精神的に重圧を感じるようになります。しかし、その経験は、指導する看護師を大きく成長させることにもなります。さらに、周囲のスタッフも、両者を支援することが必要で、そのことは、チーム全体を大きく、強力にしていくことにもなります。4月に入職してくる新人は、彼ら自身が大きな可能性を持っていることに加え、組織を変化させていく可能性も持っている

のです。3名は、職場でプリセプターと呼ばれる指導者より、一日の業務の流れ、薬剤投与、食事や排泄時の介助やナースコールの対応方法などについて指導を受けているところです。3名の新人が早く日々の業務に慣れ、患者さんの病氣、治療を理解し、患者さんを支えて行くことができるように、またその指導者が、そしてチームが、今年一年成長していくことを期待しています。

文 看護部長

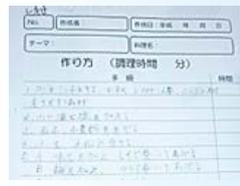
後藤 朋子



「スマイル健康大学」

開講中!

5月より賀来校区公民館で、毎週水曜日(13時~15時)「井野辺スマイル健康大学」を開講しております。認知症予防と健康作りを目的としており、1回500円(希望者には送迎あり)で行っております。6月26日は、認知症を予防する料理の「レシピ」を参加者で考案した後、実際に調理、「レシピ」を参加者で考案した後、実際に調理、試食会をしました。とてもおいしく出来ました。その他、体操や健康講話等の企画もあります。興味のある方は井野辺病院まで(二報下さい)。



みんなでレシピを作りました。



賀来校区公民館の調理室で調理をしました。



試食前、血に取り分ける職員の写真(臨床心理士の宗です!)



とても美味しく頂きました。

「サービス付高齢者住宅あさがお」のご紹介



2013年3月「サービス付高齢者住宅あさがお」が開設されました。井野辺病院から車で5分の位置にあり、定期受診等の協力をさせて頂いております。60歳以上、要介護1以上の方が入居対象で、現在約20名の方が生活されています。お部屋の総数は39戸あり、個室を基本に夫婦部屋のご用意もあるそうです。日当たりもよく清潔感のある部屋と職員さんの快い対応が魅力です。また食事メニューも豊富!朝食も和洋食選べるそうです。「社会貢献を行っていきたい」というコンセプトの下、竹工芸品の製作を行い小学校へ寄贈等の取組もしています。ご入居に関するお問い合わせは
TEL 097-549-7557まで



伊東 茂 施設長



日当たりの良い食堂



「あさがおファーム」で野菜作り

井野辺病院って

どんな人があるん!?

〜栄養課〜 青佐 泰志



畏敬会井野辺病院に勤務して1年が経過しました。業務では、外来および入院個別栄養指導や入院患者様の嗜好の聴取と栄養状態の評価、検査等に従事しています。また、病的肥満症、糖尿病および生活習慣病に対する栄養療法を専門的に学んでいます。もし、食事のことやダイエットのご質問がある方は気軽に声をかけてください。青色の白衣が目印です。趣味は多彩な方です。野球は広島カープを応援しています。酒蔵巡りが好きです。秋には広島で酒祭りがあります。節度ある飲酒と飲酒運転撲滅がモットーです。

みつはしさんのちよっと一品



三橋 由美子 (栄養士)

今回は、お酢を使ったメニューをご紹介します。お酢は、さっぱりとした食感で、食欲もいっそうそそると思います。お手軽で、冷めても美味しいですよ。

鶏手羽先の甘酢煮

★酢で鶏肉が軟らかくなります
★冷めても味がシッカリついているので、弁当のおかずにもおススメです。

材料

- 鶏手羽先 6本
- 白ネギ 1本
- イタリアンパセリ 少々
- A(酢 大さじ1
- 醤油 大さじ3
- 水 カップ1/2
- 砂糖 みりん 各大さじ2



鶏手羽先の甘酢煮

作り方

- 鶏手羽先を関節から先の部分を切り離し、骨に沿って両面に切れ目を入れる。
- 白ネギを2cm幅に切る。
- Aの材料を鍋に入れ、鶏手羽先を入れ、蓋をし、中火にかけ、煮立ててから、さらに3分煮、弱火で12分程、煮汁がトロリとするまで煮詰める。
- ※水分がなくなるまで煮てツヤを出します
- ※鍋は底の広い物がよいです
- 器に盛り、イタリアンパセリをのせる。

オクラのスープ

★ネバネバが美味しい簡単和風のスープ

材料

- オクラ 10本
- 出汁 カップ2
- 塩、薄口醤油 少々
- 削り節 少々



オクラのスープ

作り方

- オクラを塩適量で揉み、つぶ毛を取り、熱湯で茹で、水につけ粗熱を取り、

野菜のピクルス

★肉・魚の付け合わせにおススメです
★瓶に入れ1〜2日漬けると美味しくなります。

材料

- 新玉ねぎ 1個
- ローリエ(月桂樹葉) 2〜3枚
- 粒こしょう 少々
- ミニトマト 1パック
- セロリ 2〜3本
- パプリカ(黄色) 1個
- A(酢 100cc 塩 小さじ1 砂糖 大さじ1)



野菜のピクルス

作り方

- 新玉ねぎを縦半分になり、くし型に切る。
- ミニトマトをさつと熱湯に通し皮をむく
- ※ミニトマトは茹で過ぎないように。
- セロリの筋を取り、3cm幅に短冊切り。
- パプリカを縦1/8切り短冊切り。
- Aの調味量をあわせ、材料を漬け込む
- ローリエ、粒こしょうを入れて出来上がり。

青大豆のピクルス

★ヘルシーなサラダに出来ます
★生野菜サラダのトッピングにもおススメです
★漬込みタレはヘルシードレッシングに。

材料

- 青大豆(乾燥) カップ1
- 新たまねぎ 1個
- A(酢 250cc 砂糖 大さじ1
- 塩・酒 各小さじ1)



青大豆のピクルス

作り方

- 青大豆を一晚たっぷりの水につけふやかす
- 中火で15〜20分少し固めに茹でる。
- 玉ねぎを縦半分になり0.5cmのスライスにし、ザルに入れ、さつと水洗いをし、ぬめりを取る
- Aの調味量を合わせ漬け込む。
- 1〜2日で美味しくなります。

編集後記

澄み渡る青空
輝く太陽
夏ですな
夏といえは祭り!
井野辺病院でも
9月《ふれあい祭り》
を開催します☆
お楽しみに♪
いずみ担当

